大阪市教

2010年 12月2日
VOL. 465
（一部30円。 購読料は組合費に含む）

第45回幼稚園フェスタ

年度末人事相談
12月22日18時半～24日15時～
アネックススパル法円坂
JR森之宮・地下鉄谷町四丁目

発行　大阪市学校園教職員組合　大阪市中央区法円坂1－1－35（大阪市教育会館内）
編集・発行人　中路 龍太郎
TEL 6910-8700 http://osaka-shikyo.sub.jp/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyo1@sea.plala.or.jp

市費学校事務職員の人事、中学校の事務職員配置に関する要求書

1．市費学校事務職員の全廃方針を撤回すること。中学校配置を継続すること。
2．暫定配置校の事務職員を削減しないこと。１名校にしないこと。
3．就学援助加配の基準に達せず１名校となる中学校に市費学校事務職員を配置すること。
4．市費事務職員の人事異動実施要領を早急に明らかにすること。
5．幼稚園に学校事務職員を配置すること。「巡回しながら支援」を充実すること。
6．市費学校事務職員の新規採用を再開すること。

事務職員削減を許すな！

要求書・市会陳情提出、職場訪問　たたかい広がる

大阪市教は市教委に対し11月9日、「市費学校事務職員の人事、中学校の事務職員配置に関する要求書」を提出しました（別項）。「新学校財務会計システム稼働によっても、学校園の事務は軽減されておらず、2名校を1名校に減らすだけの軽減が図られていないことは明らかです。『支援が必要』である実態は変わっていません」とし、「1．市費学校事務職員の全廃方針を撤回すること。中学校配置を継続すること。2．暫定配置校の事務職員を削減しないこと。1名校にしないこと」等を要求しました。

市教委は、来年度就学援助加配の基準に達しない該当校に事務連絡を行っているようですが、来年度の配置の基準についての説明は行われていません。来年度の校内人事等の検討が始まる時期になり、市教委の「中学校への配置については、あくまで1年間に限る暫定配置」とした昨年度の回答に対して、暫定配置校、市費学校事務職員から不安と不満の声があがっています。

不誠実な対応やめよ

「1年間に限る暫定配置」とされている市費学校事務職員の不安は言うまでもありません。昨年度は「人事異動実施要領（事務職員・市費）の変更について」を11月20日に提案しました。昨年度追及した「当該市費学校事務職員に対する不当、不誠実な対応、取扱いが続き、不安が増すばかりの状態」は変わっていません。

陳情提出 議員要請

大阪市教は11月16日、大阪市会議長に「中学校事務職員の2名配置維持を求める陳情書」を提出しました。12月9日に文教経済委員会で審査の予定です。採択に向け、各会派要請、各区議員事務所要請を行いました。

大阪市教は事務職員削減撤回を求め、暫定配置校訪問、すべての職場を対象とした署名など学校現場、PTA、学校教育関係者の大同団結をさらに強め、ひろく市民にも訴え、市教委を包囲するたたかいを強めます。

年末一時金2月分、12月10日支給
賃金カットは1月末まで協議

府当局は11月12日、年末一時金について不当にも0・2月削減し2月分とし、特例条例による4％カットも強行（12月10日支給）、「公務員制度改革」及び人件費削減については引き続き協議と回答しました。

府労組連は、一時金は6年前から4％カット、カット後の金額で比較すれば0・2月削減する必要はない、昨年311億円の黒字決算、今年は240億円の黒字見込み、職員に返すのが当然と主張。「回答は受けいれられない」と表明し、継続協議を求めました。給与制度改悪・賃金カット継続については11年1月末までの期間で協議するとしました。

学校園業務軽減検討プロジェクト
市教委立ち上げ

回答交渉11／4

大阪市教は11月4日行われた労働条件改善要求回答交渉で、大阪市の病気休職者数の内精神疾患が79％（全国63％）という深刻な事態の認識をただし、業務の軽減を要求しました。

市教委は、「大阪市教職員心の健康づくり指針（仮称）」の平成23年度策定実施に向け準備を進めており、実態を改善できる方法があれば計画等を検討していきたいと答えました。また、業務軽減については、教育委員会をあげて学校園業務軽減検討プロジェクトチームを立ち上げて、そのなかで学校の業務の調査も含めて取り組みをすすめ結果を受けて何らかの対策を打ち出していきたいと回答しました。

翌5日に行われた大阪市教職員組合協議会の交渉では、定期健康診断で年齢で一律に心電図を省略している問題を指摘。

市教委は、「勤務時間の把握をすすめている。教員の勤務時間、休憩時間取得の意識の整理も必要だが課題としては認識している」と回答し、市教協は引き続き時間管理問題を追及することを表明しました。

市教委は、検討していきたいと回答。

健診結果について異常所見があるものに対して、（産業医が）必ずチェックするよう学校園に周知徹底したいと答えました。

泊を伴う学校行事について12時間の割振りでは、行事、就寝指導ができない問題、22時から翌5時までの深夜労働に対する割増し手当（百分の25）は教職員にも適用される問題を指摘しました。

市教委は、「勤務時間の把握をすすめている。教員の勤務時間、休憩時間取得の意識の整理も必要だが課題としては認識している」と回答し、市教協は引き続き時間管理問題を追及することを表明しました。

たんぽぽだより

12月

たんぽぽ会議で大阪市教教研、対市交渉の感想を交流しました。

〈教研〉○レポートと、司会としましたが、なんとか楽しくやり遂げました。○二年生の実践報告を聞いて早速授業に生かすことが出来たと聞きました。○幼稚園の報告を聞いて幼稚園の先生と交流が出来てよかったです。（小学校）

〈対市交渉〉○すごく緊張したけど、みんなの大事な要求を頑張って言えてよかった。○来年に向けて要求を集めていこう。

改善されてきていないものもまだまだありますが、一回一回の交渉の場を大切にして、職場環境や、全職員の生活が保障されるように、今後も力を合わせて頑張りましょう。

12月18日に青年部企画のバスツアーがあります。手打ちさぬきうどんを作りに金比羅さんへ行きましょう。バスも貸し切りですよ♪青年には補助も出ますので、是非ご参加ください。

仲間が増えた！

組合加入 過去最高の勢い

つながりを大事にしたはたらきかけが、仲間を増やしています。幼稚園部でずっとつながってきた幼稚園のAさん。以前から大阪市教への加入を考えていましたが、誘ってくれていた先輩が今年で定年退職と聞き、その前に是非加入したいと決意しました。

北大阪の小学校で青年が加入。職場の支部役員がじっくりと組合に対する疑問を解きほぐす中で支部教育講座の二次会で加入。港支部のB分会では組合加入が続いています。以前から加入を考えていた先輩が「市教は楽しそう！」と加入。東南では、FAXで加入の申し出が。「一人では駄目！」と加入。南大坂では、臨時主事の先輩が仲間に。過去最高の勢いです！

教え子を再び戦場に送るな！